

## 1 防犯灯のLED化について

### (1) 防犯灯LED化促進事業

**問** 3年前、中日新聞に「安城は防犯灯が少ない」と報道されました。そして、市は、昨年度から「防犯灯LED化促進事業」をスタートさせました。防犯灯LED化の今後のスケジュールはどのようなのですか？

**答** 今年度は、全ての蛍光防犯灯をLED防犯灯に切替えます。令和3年度には、新たに2500基のLED防犯灯を設置し、町内会で管理する防犯灯を、一括して市へ管理移管します。

### (2) 新規LED防犯灯2500基の配分基準

**問** これまでの防犯灯の設置数は、年平均225基でした。LED防犯灯2500基増設は大事業です。2500基の配分基準はどのようなのですか？

**答** 2000基を町内会へ配分し、500基を集落間の道路に設置します。各町内会へは、人口、面積、既存設置数などを考慮し、配分します。集落間へは、高校の通学路などを考慮して配分します。

## 2 南海トラフ地震と水道水について

### (1) 水道施設の耐震化状況について

**問** 市の水道施設のうち、浄配水場の耐震化率、管路部分の耐震化率は、どのくらいですか？

**答** 浄配水場の耐震化率は65.6%、管路部分については、基幹管路といわれる口

径300mm以上の耐震化率は31.5%、それ以下の耐震化率は33.1%です。

(2) 緊急遮断弁と水道水停止・消火栓

**問** 現在の耐震化率を前提にすると、震度7ないし6強とされる南海トラフ地震が発生した場合、漏水はどう想定されますか？また、大地震の際は、緊急遮断弁が働き、水道水を強制的に停止させると聞きますが、どうですか？水道は、そしてどのくらいの期間、停止しますか？その際、消火栓は使えますか？

**答** 水道管の被害は、市全域で約800箇所起こり、市民の94%が断水すると想定しています。緊急遮断弁は、震度6弱から6強の揺れを感知すると、自動的に遮断弁が作動し、送水を緊急停止するもので、水道水の道路上への噴き上がりや、道路陥没を防止する働きがあります。水道の停止期間は、被害状況により異なりますが、計画では、6週間後には95%が解消すると想定しています。この間、消火栓を使用しての消火活動はできなくなります。

### 3 防火水槽の耐震化について

**問** 大地震の被害は市内全域、県内全域で起こります。消防署が来てくれる保証はなく、地元を守れるのは消防団しかありません。消防団のホースは、水圧の関係で20m×3本程度です。ホースが届く範囲の消火水利としては、防火水槽しかありません。

しかし、地元を見ますと、集落の真ん中には、耐震性のない防火水槽が多く、懸念されます。市内の防火水槽のうち、耐震性のないものはどのくらいですか？既

存の防火水槽の耐震化について、市の認識と今後の計画はどうか？

〔答〕 市内には、防火水槽が457箇所あります。このうち、耐震性があるものは216箇所、耐震性がないものは129箇所、設置年度や構造が不明のため耐震性の判断ができていないものは112箇所です。

耐震性のない防火水槽の多くは、民間の土地や道路下に設置されています。民間の土地のものは、撤去を要求されることがあります。道路下のものは、破損により道路陥没、工事による道路規制の長期化、水道管やガス管など道路埋設物への影響などがあります。このほか、設置年度等が不明なものが4分の1を占めることも問題と認識しています。

今後は、課題を整理した後、設置年度等が不明なもの、交通量が多い道路下のものについて、調査していきたいと考えています。

#### 4 今回の市議会議員選挙について

(1) 全体と若年層の投票率

〔問〕 今回の市議選の投票率は、どのように把握していますか？18歳、19歳など若年層の投票率は、どのようでしたか？

〔答〕 市議選の投票率は、前々回は58.50%、前回は55.17%、今回は52.92%と、概ね3ポイントずつ低下し、本市の投票率は、全国と同様に、過去最低を更新してしまいました。

年代別の投票率では、18歳が38.82%、19歳が36.56%、20歳代が34.79%と低迷する傾向にあり、地方政治への関心が薄らいでいると推測

されます。

(2) 期日前投票の充実について

**問** 期日前投票は、告示日の翌日から投票日の前日までの都合の良い日に投票できる便利さから、年々増えています。他市においては、期日前投票に関して、様々な取組みがなされています。本市では、期日前投票の充実についてどう考えていますか？

**答** 期日前投票に関する全国の取組みとしては、1つ目は、駅や商業施設など、人が集まる施設での投票所の設置、2つ目は、投票時間の延長、3つ目は、投票所への送迎や車両での移動式投票所の設置です。

本市でも、集客施設への設置は、若年層の投票率向上にも有効と考えます。しかし、ネットワーク構築、スペース確保、秘密保持など課題もあるため、課題を整理し、関係者と協議していきたいと考えています。

## 5 令和元年5月1日の婚姻届について

**問** 広報あんじょうによれば、令和初日の5月1日に、市内で84組の婚姻届があり、設置されたボードの前で記念写真を撮るカップルの様子が掲載されていました。過去の婚姻届の件数と、当日設置された記念ボードの経緯と利用状況を伺います。

**答** 令和元年5月1日は、「天皇即位の日」として国民の祝日に規定され、併せて大安と重なったことから、多くの婚姻届が予想されました。閉庁日でしたが、婚姻

などの受付を行う臨時窓口を開設し、広報あんじょうや市公式ウェブサイト  
で市民に周知しました。

昨年度の婚姻届は965組で、そのうち最も多かった日は、クリスマスと大安が  
重なった12月25日、34組でした。過去10年では、平成25年、いい夫婦  
の日と大安が重なった日の11月22日、82組でしたので、過去10年では最  
多となりました。

記念ボードは、幸せなカップルの記念となるものを用意することが必要として、  
市長の指示で急遽撮影コーナーが設置されました。多くのカップルが笑顔で撮影  
されており、二人の記念日の思い出づくりができたと思っています。